

人間生活学研究科 博士後期課程 カリキュラムマップ (R4.4~)

		共通ディプロマ・ポリシー			領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】				領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】				領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】			
ディプロマ・ポリシー ◎＝学修成果の修得のために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得のために重要な科目		1) 人間の生活に根ざした学問体系の確立と発展に寄与し、学際的研究を自立して展開する能力を身に付けている。	2) 研究分野に関する国内外の動向を俯瞰的に把握し、学際的な関連分野の知見をふまえて、自己の研究の位置づけを明確にすることができる。	3) 人間の生活に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて研究を実践する能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における高度に専門的な知識を持ち、栄養・生活に関する分野を系統的・統合的に理解する能力を身に付けている。(知識・理解)	2) 栄養・生活に関する諸課題を総合的・学際的な視点で捉え、研究を通して課題解決に資するための高度な論理的思考力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 栄養・生活に関する分野における研究の発展に寄与する新たな知見を研究成果として公表する能力を身に付けていると同時に、社会に向けて提言することができる。(研究遂行能力)	4) グローバルな視野を持った教授者として、栄養・生活に関する分野における専門職教育を担う能力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 社会福祉分野における高度に専門的な知識を持ち、社会福祉学を系統的・統合的に理解する能力を身に付けている。(知識・理解)	2) 社会福祉学に関する諸課題を総合的・学際的な視点で捉え、研究を通して課題解決に資するための高度な論理的思考力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 社会福祉学の分野における研究の発展に寄与する新たな知見を研究成果として公表する能力を身に付けていると同時に、社会に向けて提言することができる。(研究遂行能力)	4) グローバルな視野を持って、地域共生社会の実現に向けて指導的役割を担うことができる研究者および専門職業人としての能力を身に付けている。(総合的な学修経験と創造的思考力)	1) 文化研究の分野における高度に専門的な知識と系統的・統合的に理解する能力を身に付けている。(知識・理解)	2) 文化に関する事象や課題を人文科学的または社会的な視点で捉え、研究を通して課題解決に資するための高度な論理的思考力を身に付けている。(研究遂行能力)	3) 文化に関する研究分野の発展に寄与する新たな知見を提供し、広く社会に発信することができる。(研究遂行能力)	4) グローバルな視野を持って、文化に関する研究能力を活かし、研究成果を公表することができる。(総合的な学修経験と創造的思考力)
専攻共通科目	研究デザイン	◎	○	○												
	研究倫理	○	○	◎												
専門科目	栄養・生活学領域科目	地球環境解析学		○		◎	○		○							
		環境生態学		○		◎	○		○							
		人間栄養学		○		◎	○		○							
		食品機能学		○		◎	○		○							
		健康動態学		○		◎	○		○							
	社会福祉学領域科目	介護福祉学			○				◎	○						
		障害者福祉学			○				○	◎						
		児童・家族福祉学			○				○	◎						
		地域ソーシャルワーク学			○				○	◎						
		国際福祉政策学			○					○		◎				
	福祉リハビリテーション学			○	○					◎						
	文化学領域科目	地域文化学Ⅰ	○											◎	○	○
		地域文化学Ⅱ		○										○	◎	○
		言語文化学Ⅰ	○											◎	○	○
言語文化学Ⅱ			○										○	◎	○	
研究指導科目	栄養・生活学特別研究Ⅰ	○	○	○		◎	○									
	栄養・生活学特別研究Ⅱ	○	○	○		◎	○									
	栄養・生活学特別研究Ⅲ	○	○	○		◎	◎									
	社会福祉学特別研究Ⅰ	○	○	○				◎	○							
	社会福祉学特別研究Ⅱ	○	○	○					◎	○						
	社会福祉学特別研究Ⅲ	○	○	○						◎	○					
	文化学特別研究Ⅰ	○	○	○									○	◎	○	
	文化学特別研究Ⅱ	○	○	○									○	○	◎	
	文化学特別研究Ⅲ	○	○	○									○	○	◎	